

「心の生きがい」促進事業

天童よしみ、オール阪神・巨人が 泉大津にやって来る！

12.21

市民会館大ホール

65歳以上の900人を
「無料」でご招待！

日ごろ、歌や漫才なんて生で見に行っただことがないわ…という皆さん！ なんとあの天童よしみ歌謡ショーが本市にやって来ます。さらに泉大津名誉大使のオール阪神・巨人の漫才も！ この豪華なイベントは昼・夜の2回公演で、夜の部に、市内65歳以上の皆さんを無料でご招待します！ 夜の部は有料ですがどなたでも参加いただけます。ぜひご応募ください。



よしもとバラエティショー

天童よしみコンサート



オール阪神・巨人



天童よしみ

ともに生き、
心と心をつなぐ
すこやか安心長寿のまち
泉大津

夜の部の申込は
10月31日(木)
必着です！



■ イベントの対象・料金・申込方法など

	昼の部	夜の部
対象	市内在住の公演当日65歳以上の人	どなたでも参加可能
参加費	無料ご招待	1席1,500円
定員	900人(原則ペア450組)ただし1人での申し込みも可	1,250人
申込方法	往復はがきに2人分の氏名・住所・生年月日・電話番号を記入し、〒595-8686 東雲町9-12 泉大津市役所 高齢介護課「天童よしみ」係へ(10月31日(木)必着)。返信用にはどちらかひとりの宛名をお書きください。2人とも65歳以上の場合のみお申し込みいただけます。ただし介助が必要な場合は、介助者の年齢は問いませんので、「介助者」と記入してください。 ※応募多数の場合は抽選とし、結果は返信用はがきでお知らせします。席順についてはこちらで割り振りますので、ご了承ください。 ※おひとり様1枚の申し込みに限ります。	10月21日(月)から高齢介護課(市役所1階6番窓口)、人権市民協働課「おづみん屋」(同2番窓口)・総合福祉センター・南北公民館・市民会館、各プレイガイドにて販売。

できる限り公共交通機関や自転車、徒歩でご来場ください。

地方公営企業法の全部適用事業所に移行

市立病院は生まれ変わります！ 10月1日から新体制の病院経営開始

◎病院事業管理者を設置し、迅速で安定した経営が可能になります

◎今後も市直営の病院であることに変わりありません

市立病院は、地域の中核的な病院として安定した経営を行うとともに、急激に変化する医療環境や医療ニーズに迅速かつ柔軟に対応していくため、平成25年10月1日から地方公営企業法の全部適用事業所となります。従来は地方公営企業法の財務規定だけを適用していましたが、すべての規定を適用する全部適用とすることにより、組織や職員の身分の取り扱いを含む人事などについての権限が市長から病院事業管理者に移行し、今後は病院独自で人事や給与などを決めることができます。このことにより公営企業としての独立性が強化され、病院経営に必要な迅速かつ効率的な取組を進めていきます。また、全部適用事業所に移行しても、泉大津市直営の公設公営の病院であることに違いはありません。なお、患者さんへの診療内容や医療費に影響はありません。

問合せ 病院総務課(☎32・5622)

市長あいさつ

「市民の皆さまの期待を受け止め
公立病院としての社会的役割を果たします」

市立病院は1927年(昭和2年)に和泉伝染病院として開設され、昭和5年には和泉公民病院と改称、さらに昭和47年には現在の名称へと改称し、現在に至っております。

市立病院はこの間、昭和25年に総合病院として診療を開始し、平成10年には施設を全面改築、さらに平成21年には地域周産期母子医療センターを開設し、地域の健康を守る拠点病院として貢献してまいりました。

しかし反面、平成10年の全面改築、平成21年の地域周産期母子医療センターの開設は膨大な債務を残しており、さらに平成16年には産婦人科医師が、平成21年には内科医を中心とする大量の医師が退職したことなどにより、市立病院の収支は大きく悪化いたしました。

このため、市立病院ではさまざまな角度から経営の健全化に努めてまいりましたが、経営の改善には至らず、非常に厳しい状況が続いております。

こうしたことから、このたび、経営の安定化を図り、地域の中核的な病院として、目まぐるしく変化する医療環境への対応や、市民の皆さまの医療ニーズに的確にこえていくため、地方公営企業法の全部を適用する経営組織として、宮下律子先生を事業管理者にお迎えし、新たにスタートを切ることといたしました。

今後は私は、市立病院の開設者として、市民の皆さまのご要望やご期待をしっかりと受け止め、市立病院が将来にわたって市民の命と健康を守るための医療を提供し、公立病院としての社会的役割を十分に果たしていけるよう、一層の充実を図ります。

つきましては、これを機に、なお一層のご愛顧をいただきますよう、お願いを申し上げ、私のご挨拶といたします。

泉大津市長 伊藤晴彦



事業管理者あいさつ

「良質の医療を提供し
自律的に持続可能な経営を」

このたび、新たに市立病院の事業管理者を拝命いたしました宮下律子でございます。

私は、平成2年に小児科医として本院へ奉職し、以来、地域の子どものための安寧を願い、医療に力を尽くしてまいりました。

本院は現在、平成10年の全面改築をはじめ、地域周産期母子医療センターの開設や二度にわたる医師の大量退職により、財政状況が大きく悪化し、その回復に向けての変革が必要な局面にあると認識しております。

こうした局面で病院事業管理者のお話をいただき、その責任の重大さに、お引き受けすべきか熟慮しましたが、一医療人としてのみならず、事業管理者としても泉大津市の皆さまがよりよい医療環境のもとで生活できるお手伝いできればと思い、お引き受けすることにいたしました。

良質の医療を提供し、信頼され安心感を与える医療を実践すること。それに加えて合理的、能率的な業務運営を行うことにより、自律的に持続可能な経営を実現すること。この2つが今、本院に求められている命題であると思います。

つきましては、微力ではありますが、地域の子どものたちと同様、健やかな発展を願い、愛着を持って取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市立病院事業管理者 宮下律子



平成27年度からの
実施を目指して

第4次泉大津市総合計画

新しい「総合計画」を策定します

～皆さんと描くいずみおおつの未来～

「総合計画」って？

総合計画は、将来、泉大津市をどのような「まち」にしていくのか、そのために、どんなことをしていくのかを、総合的・体系的にまとめたものです。市の福祉や都市計画、環境といったすべての計画の基本となるもので、いわば市の「まちづくりを進めていくための道しるべ」だといえます。



少子高齢化や人口減少により、人口構成に変化が表れており、社会や経済への影響が懸念されています。また、東海・東南海・南海連動型地震などの自然災害をはじめとする、さまざまなリスクに対する危機管理意識や、エネルギー・環境に対する市民意識の高まりなど、安全で安心できるまちづくりへの対応が求められています。

このような中、本市においても、地域特性や資源を最大限に生かすことのできる、これからの時代にふさわしいまちづくりを進めていく必要があります。

そのため、市民の皆さんとともに、目指すべき姿とそれを実現するための方向性をまとめ、まちづくりの指針となる新しい総合計画（第4次泉大津市総合計画）を策定します。

①総合計画の構成

「基本構想（10か年計画）」、「基本計画（前期5か年・後期5か年計画）」によって構成します（下図参照）。

②市民の皆さんの参加について

策定過程において、多くの皆さんのご意見をお伺いしたいと

考えており、次のとおり、市民の皆さんにご参加いただきます。皆さんのご協力をお願いします。

▽市民意識調査（アンケートの実施（平成25年10月下旬実施予定））

無作為に抽出した16歳以上の市民3000人を対象に、市民のまちづくりに対する意向を調査し、策定のための基礎資料とします。

▽市民会議の開催（2か年で全6回、平成25年12月から開催予定）

市民の生の声を計画に反映するため、直接参加による市民会議を実施します。基本構想の立案に向けた検討・提言などを行っていただきます。

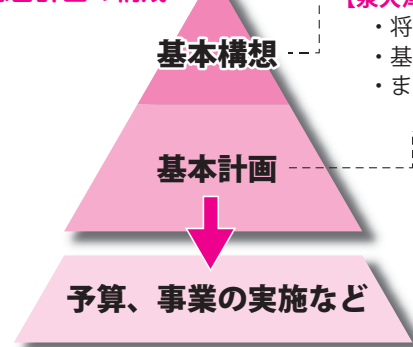
▽シンポジウムの実施（平成26年9月実施予定）

総合計画素案をもとに、市長や市民、有識者などのパネラーによるディスカッションを実施する予定です。

▽市民意見公募（パブリックコメント）の実施（平成26年9月実施予定）

総合計画素案をホームページ

■ 総合計画の構成



【泉大津市としての目指すべき姿を示すもの】

- ・将来都市像
- ・基本理念
- ・まちづくりの目標

基本構想

基本計画

【基本構想を実現するための方向性】

- ・目指すべき姿
- ・現況と課題
- ・取り組みの事例
- ・市民との協働の考え方

③策定経過の公表

新しい総合計画の策定経過は、市のホームページや広報紙を通じて、公表していきます。

問合せ 企画調整課（市役所4階窓口）



10月12日、13日は だんじりまつり！！

泉大津市がひとつとなって盛り上がる秋の祭礼・だんじりまつり。今年の日程は、試験曳きが10月6日（日）、そして12日（土）、13日（日）が本祭りです。



だんじりまつりの季節がいよいよやってきます。本祭りでは、市内各地域で泉大津警察署により、下図のような交通規制区域（車両通行禁止）が設けられますので、当該区域およびだんじりの曳行コースにあたる地域には駐車しないよう、また通行する車はう回するようご協力をお願いします。

非行のない明るい祭りを

秋祭りでは、開放的な気分になって飲酒・喫煙・暴力行為や不純異性交遊などをする未成年が増える傾向にあります。

このようなことに対し、周囲の大人たちが「祭だから」と見て見ぬふりをすることや、未成年者へ酒をふるまうことなどは絶対にやめましょう。みんなで楽しく明るい祭にしましょう。

問合せ 生涯学習課（市役所3階窓口）

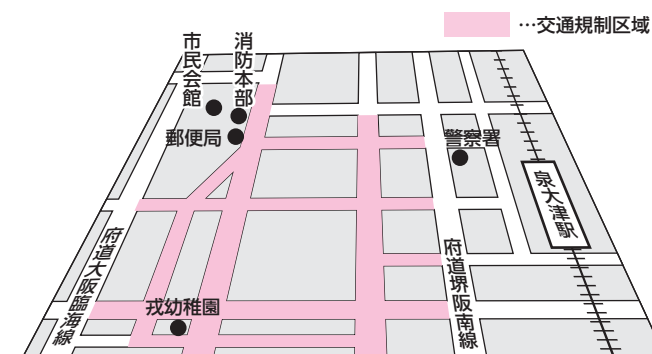
問合せ 環境課（市役所2階21番窓口）

各地区の交通規制区域とパレードなどの日程

大津神社地区

▷10月12日（土）…午前6時～午後10時 ▷13日（日）…午前9時～午後10時

パレードは12日の午後1時から新谷産業前交差点を中心に行われます。翌日13日は午前9時30分から大津神社に下之町・上之町・上之町・元町・宮本町・田中町・出屋敷町・西之町の順にだんじりが宮入りします。



曾根・助松神社地区

▷10月12日（土）…午前6時～8時 ▷13日（日）…午前8時30分～午後10時

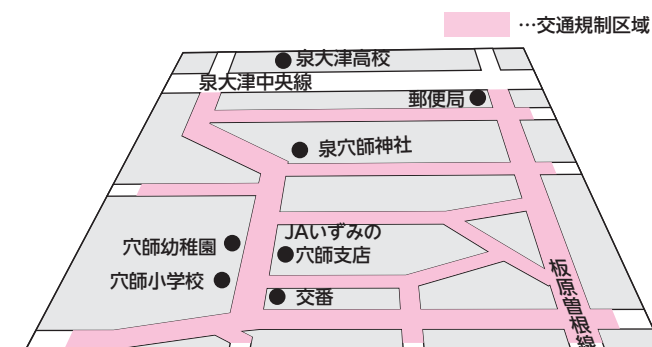
13日は、午前9時から曾根神社に北曾根・千原町・二田町・森町・池上町（和泉市）・南曾根・池園町の順に7台が宮入りします。また、助松神社には午前9時30分に助松町が宮入りします。なお、13日の午後1時30分から、さつき通りを中心にパレードが行われます。



泉穴師神社地区

▷10月12日（土）…午前6時～8時 ▷13日（日）…午前9時～午後10時

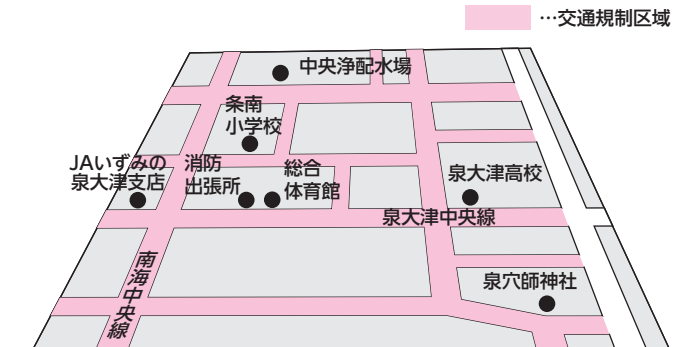
13日は、午後0時40分から泉穴師神社に豊中町・池浦町・我孫子・板原町の順に宮入りします。また、同日、飯之山神事も行われます。



穴師、助松、曾根地区 十二町連合

▷10月12日（土）…正午～午後6時

12日の連合曳きは、正午から泉大津中央線を中心に、助松・曾根地区と泉穴師地区との合同で行われます。



市立病院の助産師の活動



市立病院で働く助産師は、出産時のお手伝いの他にも、子どもたちに命の大切さを教える「出前講座」や、これから親になる人に向けた「ペアレンツクラス」などの活動を行っています。 問合 病院総務課（☎32・5622）



助産師による出前講座の様子

①出前講座

小・中・高校生を対象とした思春期性教育「いのちのりレー」

実際に市立病院で生命の誕生に立ち会っている現役の助産師が、市民の皆さんのお申し出により出前講座を行っています。人の命の大事さやすばらしさについて知ること、自分や相手を大切に思う心が育つことを目指し、少しでも痛ましい事件がなくなる一助となればと考えています。

助産師による出前講座をご希望の場合は市立病院総務課へお申し込みください。受講を希望する皆さんの年齢やご希望に応じた講座を行います。

講座の一例

▽受精から出産までの過程を具体的に説明することで、生命誕生の神秘性、すばらしさについて知る

▽自分の体と心の大きな変化に戸惑う思春期、その変化を科学的に理解するとともに、人間（男女）関係のあり方について考える

▽健康管理とこれからの生き方について考える

■ ペアレンツクラスの内容

	内 容	担 当
A（16週以降）	妊娠中の栄養	栄養士
	妊娠中の保健	産科医師
	妊婦体操	助産師
	乳房の手入れ	助産師
	病棟案内	助産師
B（28週以降）	小児科の話	小児科医師
	呼吸法・分娩経過と過ごし方	助産師
	入院の仕方とタイミング	助産師
	入院中のスケジュール	助産師



ペアレンツクラスの様子

講師 市立病院 看護部助産師 山本明美

②ペアレンツクラスのご案内

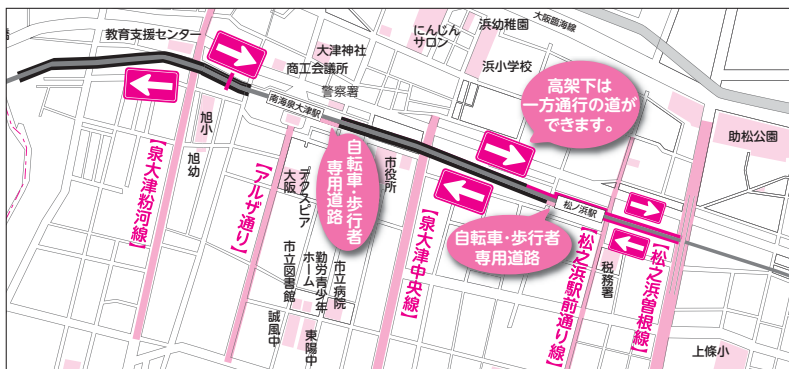
市立病院では、お母さん・お父さんになる人のための教室、「ペアレンツクラス（両親学級）」を開催しています。楽しいマタニティライフを送り、満足したお産にするために一緒に学んでいきましょう。

参加は当院で出産される人や妊婦検診を受診される人に限らせていただいています。

南海本線連続立体交差事業の今

南海電気鉄道㈱が行っている駅舎工事など鉄道に関する工事と市が行っている側道工事やインフラ工事の現在の状況をお知らせします。

■工事のエリア図（地図内で濃い青で示している部分が10月からの工事箇所です）



南海本線連続立体交差事業は、南海電気鉄道㈱が行う鉄道高架化工事や駅舎工事などの鉄道に関する工事と本市が行う側道工事やそれに伴うインフラ工事などの工事があります。

現在、南海電気鉄道㈱が、駅舎工事や泉大津駅前ペDESTリアンデッキ工事などを行っており、10 月から本市が

雨水函渠（かんきょ）工事（松之浜町1丁目、2丁目、旭町付近）、水道工事（条南町付近）、下水道工事（松之浜町1丁目付近）に着手してまいります。今後とも、皆さんにはご迷惑をおかけしますがご理解・ご協力をよろしく願います。

問合 街路連立事業課（市役所2階24 番窓口）



工事中はご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

「市長への提言」にお答えします。

市政について幅広いご意見をいただく企画「市長への提言」を広報紙6月号で募集したところ、65 通、113 件の提言がありました。ご提言と市の回答の抜粋を掲載します。問合 秘書広報課（市役所4 階）

犬のふんを放置する飼い主の取り締まりを

●犬のふんや尿を放置した飼い主に対して、監視巡査員の過料の徴収による取り締まりを行ってほしい。

（回答）

犬のふんや尿の放置については、飼い主一人ひとりの自覚と責任ある行動が必要だと思います。本市では、監視巡査員の過料の徴収による取り締まりについては、考えておりません。飼い主の散歩時におけるマナー向上について、広報紙や環境展、狂犬病予防注射時に啓発を実施するとともに、市内4 動物病院の協力を得て、犬の診察時にも同様の啓発を行っています。（担当：環境課）

中学校給食を導入してほしい

●中学校の給食を早急に開始してほしい。

（回答）

大阪府に平成 28 年度開始の計画を提出しています。現在、関係各部署と意見交換を行い、本市の実情にあった実施方法について検討中です。

また、家庭弁当を持参しないときに利用できる校内での弁当販売を9 月から東陽中学校で実施しています。今後、全中学校で販売する方向で検討しています。（担当：教育総務課）

子ども医療費の助成対象年齢拡大を

●子ども医療費助成の期間を延長してほしい。

（回答）

厳しい財政状況の中ですが、その負担の軽減と助成制度の充実に努めるべく、本年 10 月から、対象者の助成期限の引き上げを実施することにしました。具体的には、入院にかかる対象者の助成期限を現行の小学校 1 年生修了までを小学校 6 年生修了まで、通院については、小学校 1 年生修了までを小学校 2 年生修了までに引き上げることにになりました。（担当：児童福祉課）

自治会に加入するよう市が指導できないか

●町内で自治会に加入しない世帯が増えて困っています。市当局で強制加入の指導はできないでしょうか。

（回答）

自治会組織は、任意で結成された団体であるため、市が自治会へ加入を強制することはできません。しかし、各自治会が地域コミュニティの核として活動されているという現状と重要性は認識しております。

今後、市としても自治会連合会などの各種団体と連携して加入促進策を含む地域コミュニティ活性化について検討を行ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。（担当：人権市民協働課）

自転車のマナー向上を

●自転車のマナーが悪く、無灯で走行している人が多い。

（回答）

自転車のマナーについては、春・秋の交通安全運動を通じ、市内幼稚園・保育所・小学校で交通安全教室を実施しています。

また、広報紙やホームページで自転車の安全走行を呼びかける記事を掲載し、啓発活動に努めています。今後、より多くの人に指導がいきわたるよう、啓発活動を続けていきます。（担当：土木課）

生活保護費の不正受給を摘発できないか

●生活保護費の不正受給者を摘発する専門員を養成して新たな組織を作ってほしい。

（回答）

専門員の育成は全国的にもその要望が高まってきていると聞いています。今後も厚生労働省などの動きに注視し、動きがあれば迅速に対応していきます。（担当：生活福祉課）

還暦式を開催してほしい

●還暦を迎えるに当たって、市で還暦式を開催してほしい。

（回答）

市では、長寿祝品として米寿を迎えられた人、100 歳を迎えられた人、男女の最高齢の人に記念品を贈呈しております。

また、80 歳の人には記念として杖をお渡ししています。結婚 50 周年のご夫婦をお招きし「金婚祝賀会」を開催しています（いずれも申請が必要）。

「還暦式」について、就労支援・産業創出を目的とするためには、関係企業の皆さんのご理解・ご協力が不可欠となり、現時点で開催することは困難であると考えます。各式典のあり方については引き続き精査し、「還暦式」については各市町村の動向も見据えながら今後、研究してまいります。（担当：高齢介護課）

ごみ袋の料金を下げてほしい

●ごみ袋の販売によって余剰金が出ているのであれば、ごみ袋の値下げに回してほしい。

（回答）

指定袋の価格につきましては、近隣市町の状況や袋の価格とごみの減量効果などを検証し、設定しています。有料化による収益の使途については、「地域環境基金」に積み立て、有価物集団回収助成事業やレジ袋削減事業などのごみ減量施策や環境教育など、地域環境に寄与する事業の財源に充て、活用を図っています。（担当：環境課）